

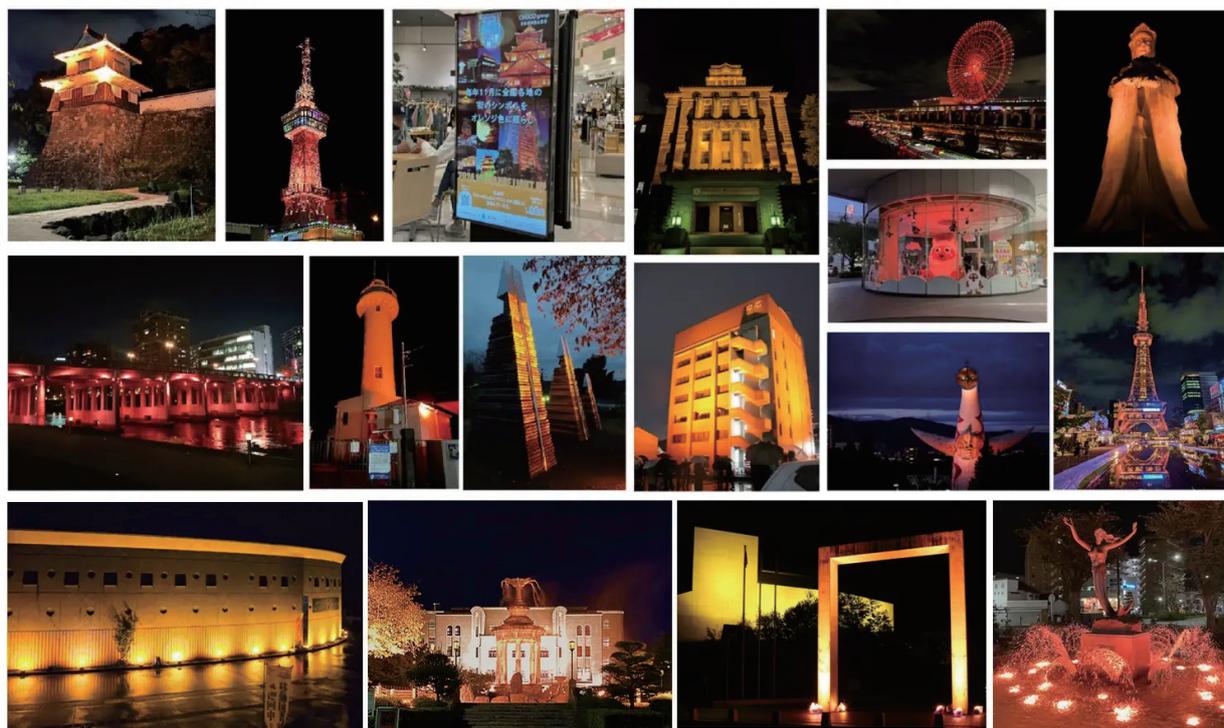
2024年11月22日

CHUCO group 児童虐待防止運動

「#にっぽんオレンジシンボル運動」へ 全国47都道府県1000カ所以上の賛同 文部科学省・こども家庭庁が後援

株式会社中広（本社：岐阜市／代表取締役社長：大島 斉）では11月にCHUCOgroup児童虐待防止運動の一環として、「#にっぽんオレンジシンボル運動」を実施しています。

この「#にっぽんオレンジシンボル運動」とは、CHUCOgroupが中心となり賛同者を募り、日本中のシンボルを児童虐待防止運動のイメージカラーであるオレンジ色にライトアップすることで、目にした方々が気づきを得て理解を深めるだけでなく、SNSなどでの拡散も狙った活動です。



全国でライトアップする賛同スポット（一部抜粋）

昨年より取り組みを開始し、昨年116カ所だったライトアップの賛同を今年は1,000カ所に広げようとスタートしたところ、多くの皆様から共感と協力を得ることができ、合計47都道府県1,061カ所（11月22日現在）の賛同が叶いました。

今年はこの取り組みの他にも児童虐待撲滅に向けたプロモーションを拡充。文部科学省とこども家庭庁から後援をいただく取り組みへと成長しています。

今後も当社のもつメディア会社としての発信力と、広告会社としてのプロモーション力を活かし、賛同者の輪を広げることで児童虐待を日本から撲滅すべく、尽力して参ります。

賛同スポット
一覧はこちら



3つの柱を通年で展開

中広では2018年に起きた船戸結愛ちゃんの虐待死事件を受け、このような痛ましい事案が二度と繰り返されないよう、全国で展開する『地域みっちゃく生活情報誌[®]』にて啓発記事を掲載する活動を始めました。これが3つの柱のひとつである「誌面掲載による啓発活動」です。

ふたつめは冒頭でご案内した「#にっぽんオレンジシンボル運動」。日本中のシンボルを児童虐待防止運動のイメージカラーであるオレンジ色にライトアップすることで、目にした方々が気づきを得て理解を深めるだけでなく、SNSなどでの拡散も狙った活動です。

そして最後は、今年から文部科学省の後援を得て新たに始めた「小学生向け189番周知プロモーション」です。

🎀 CHUCO group 児童虐待防止運動概要 🎀



『地域みっちゃく生活情報誌[®]』による189番啓発活動

当社では全国35都道府県で182誌1,340万部以上のポストイン型情報誌『地域みっちゃく生活情報誌[®]』を展開しています。11月号では通常の啓発に加え、表紙でCHUCOgroup児童虐待防止運動に関するアナウンスを実施いたしました。



#にっぽんオレンジシンボル運動

こども家庭庁が毎年11月に推進する「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」に合わせ、日本全国のランドマークや企業の建物を任意の期間、イメージカラーであるオレンジにライトアップ、またはサインージで啓発動画を放映する活動です。

今年も行政機関や観光施設などから多くのご賛同をいただき、昨年より10倍にあたる1061カ所(11月22日時点)で実施。さらに、岐阜市の協力を得て、JR岐阜駅前の金色の信長像には特製の189オレンジマントを着用していただき、大きな注目を集めています。



小学生向け189番周知プロモーション

今年新たに開始した本プロモーションは、大人ではなく虐待被害の可能性のある子どもたちを直接対象としています。特に、家庭で情報が遮断されがちな被害児童に向け、安全が確保された「学校」での訴求を通じ、自らや友人を守る方法を知ってもらうことを目指しています。

その一環として、児童相談所虐待対応ダイヤル「189番」を周知する「189のうた」を制作しました。この1分程度の音源データは、希望する小学校に無償提供しており、すでに岐阜や名古屋の教育機関から「児童用タブレットへも格納したい」や「児童館等での利用」といった要望も寄せられています。全国には18,900校を超える小学校があり、今虐待に苦しむ子どもたちに一刻も早く届ける必要があります。ぜひ動画を視聴し、口コミや拡散を通じた支援にご協力ください。



「189のうた」
音源はこちら

【本件に関する問い合わせ】

株式会社 中広 グループ戦略統括事業部 広報・マーケティング (岡本)
〒450-6324 愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1番1号
TEL.052-562-2139/080-6978-2574 Mail:koho@chuco.co.jp